

新一年生おめでとう

新一年生お祝いの会

春の日差しが心地よい3月1日、西大井6丁目町会では毎年恒例のこの4月に小学校へ入学する新一年生のお祝いする会を開きました。今年は11名の新一年生が申し込みしてくれました。



場所は6丁目会館。受付では元気よくお名前を言ってくれる子やちょっと恥ずかしそうに言う子などさまざまでしたが、みな笑顔がいっぱいでした。

金森町会長からお祝いの品を手渡された時は目を輝かせて嬉しそうな子供たち。大井警察からは「通学に向けての注意喚起のお知らせとピーポ君グッズ」をいただきました。

そのあとはお待ちかねの「お菓子釣りゲーム」と「お菓子タワーの取り放題」！お菓子釣りゲームでは、どのお菓子にしようかな？と狙いを定める子や、釣れた瞬間に大喜びをする子など、会場は終始にぎやかな笑い声と歓声に包まれました。お菓子タワーからは溢れんばかりのお菓子をどれにしようかと考えながらお兄ちゃん、お姉ちゃん、弟、妹の



分もいっぱい袋に入れ、みんな満面の笑みを浮かべていました。子供たちの笑顔でもとても素敵な時間となりました。

この11名の新一年生が新しい学校生活でたくさんの友だちを作り、健やかに成長されることを地域住民一同、心より願ひそして見守ってきたいと思っています。

(西大井六丁目町会 渡邊 廣和 記)

小学校入学おめでとうございます

子どもが小学生になることは本人や家族にとって大きな喜びですが、地域にとっても地域の子どもの成長はたいへんうれしいことです。そこで、町会内の新1年生にむけて入学祝いの会を行う町会があります。

大井鹿島町会では、まず2月初旬に回覧・掲示板やホームページで町会内に住む新1年生の募集からスタートです。今年は13名の申込みがあり、3月22日(日)に町会会館でお祝い会をしました。当日、子どもたちは胸に花を飾り、ちょっと緊張した面持ちで家族といっしょに席に着きました。

会が始まると、一人ひとり名前を呼ばれ、お祝いの品(名入り鉛筆・赤飯・菓子袋)が渡されました。ふれあいポリスの方からの交通安全についてのお話があり、町会長からは「友だちをたくさん作ってね」とエールが送られました。

後日、参加した保護者の方から、「近所と同じ学校に通う同学年の子どもがいることを知ってうれしかった」という声が寄せられました。

子どもたちの楽しい学校生活を応援しています。

(松岡 記)

新一年生入学を祝う集い

3月1日(日)西大井四丁目金子町会館に、この春小学校に入学するお友達12名とご家族19名が集い、お祝いの会を行いました。毎年入学のお祝いとして「名入り鉛筆」をお渡ししています。今年のお申込者24名。元気なお子さんとそのご家族が集まり一人一人がお名前と入学する学校を大きな声で発表しました。

大井警察ふれあいポリス市村さんからは、新一年生は「道路にとびださない」「青信号でもゆだんしない」「自転車のルールをまもる」、保護者の皆さんには「子ども目線でのルールを教えること」が強調されました。皆さん心掛けましょう。

そして、今年もバルーンで作品作り。すてきな桜の飾りの下で、時々バンバンと聞こえる破裂音にも負けずにきゅーきゅーと風船人形に挑戦。

この集いは今回で22回目。町内の若い家族が集い知り合うきっかけになればと続けています。

(西大井四丁目町会 永井 真理子 記)

一年生おめでとう

去る3月15日(日)西大井5丁目伊藤町会館において、新一年生にお祝いの品をお渡しする催しが行われました。

18名の申込者の内14名の新一年生が保護者の方と一緒に受け取りにられました。受付で「お名前を教えてください。」と言われるとちょっと照れて「〇〇〇〇です」と...お祝いの『おめでとう封筒』とプレゼント用に作られたバルーンアートを手手に「ありがとうございました。」と笑顔で元気に帰られました。

封筒の中には名前入りの鉛筆・伊藤ばやし、野球、サッカーetcの活動内容と入会案内が入っています。少子化の中、どのサークルも会員獲得に熱心です。

(金澤 記)

大井第一小学校 展覧会「アートでつなぐ150年の想い」

2月12日から14日、大井第一小学校にて展覧会が開催されました。開校150周年という記念すべき節目に掲げられたテーマは「アートでつなぐ150年の想い」。会場には、子どもたちが授業を通して作り上げた力作が所狭しと並びました。図工の絵画や立体工作、家庭科の裁縫作品など、どれも児童一人ひとりの個性が光るものばかり。特に、自分の子どもが一生懸命に仕上げた作品を目の前にすると、その筆致や縫い目一つひとつから、制作中の試行錯誤や成長の跡が伝わってきて、胸が熱くなる思いでした。

また、作品展示だけでなく、来場者への細やかな「おもてなし」も印象的でした。6年生による子ども学芸員、迷わず鑑賞できる分かりやすい場内案内図や、校内5か所に設置された手作りの「顔はめパネル」など、学校全体でこの展覧会を盛り上げようとする工夫が随所に凝らされていました。

150年の歴史をバトンにつなぎ、豊かな感性で表現した子供たち。その瑞々しいエネルギーに、元気を分けてもらった三日間となりました。

(松田 記)



*品川区のホームページでカラー版と既刊をご覧ください。

